

児童相談所関連研修 法定研修「指導教育担当児童福祉司任用前研修」

【実施日】	<p>【前期日程】令和7年8月19日、21日、25日</p> <p>【後期日程】令和8年1月23日、26日</p>
【受講決定者数】	51名
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修を通して、スーパービジョンの本質について理解が深まりました。特に、単に指導や助言を与えるだけでなく、バイザー自身が自分の課題に気づき、主体的に成長できるように支援する姿勢の重要性を実感しました。また、他の自治体の職員の方々と意見交換する機会を持てたことも大きな収穫でした。日々の業務の中で抱えている悩みや課題が共通していることを知り、孤立感が和らいだと同時に、互いに励まし合える仲間がいることに心強さを感じました。今後は、研修で学んだスーパービジョンの視点を活かし、スーパーバイザーをサポートできるようになりたいです。 ・都児相と区児相のやり方、考え方、経験年数等々様々な児相の意見を聞いたことが大きな学びにつながった。進行管理等については皆共通の課題として認識している事に驚いた。機関連携含め効率よく、かつ円滑な関係性を作れる様に努力したい。 ・グループワークで他の所のやり方を共有してもらえたこと自体が課題への対応のひとつとして意味があったなと思いました。組織としてしくみを変えるには個人の意見だけでは難しい面もあると思うが、意見を伝えること自体も中堅職員としての役目であり、スーパーバイザーとしての役目だと思い、早速翌日チームのチーフに共有しました。 ・講師は復習と仰いましたが、研究によって新たに明らかになることが増え、児童虐待の対応も複雑になっていく中、復習だけでなく、新たな気づきが沢山ありました。 ・最近、フランスの福祉の導入がブームですが、なぜ日本の制度への受け入れに私自身が違和感を感じるのかがとても整理が着きました。危機介入を司法が引き受ける土台が欧米はしっかり整っており、支援ベースの制度を取り入れてもチグハグになってしまうことの説明が自分の中につきました。